



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2612 URL http://www.kadoya.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久米 敦司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 戸倉 章博 TEL 03-3492-5545
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	25,746	△2.2	2,935	△28.1	3,099	△27.4	2,115	△25.6
2019年3月期第3四半期	26,338	14.8	4,087	△3.5	4,273	△1.8	2,844	△4.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,150百万円 (△21.3%) 2019年3月期第3四半期 2,735百万円 (△15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	229.99	—
2019年3月期第3四半期	309.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	36,688	27,556	75.1
2019年3月期	36,237	26,511	73.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 27,556百万円 2019年3月期 26,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	1.8	2,600	△38.1	2,600	△41.3	1,800	△38.9	195.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	9,400,000株	2019年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	200,179株	2019年3月期	200,279株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	9,199,779株	2019年3月期3Q	9,199,681株

(注) 当社は「株式給付信託（BBT）」を導入しており、期末自己株式数には、信託に残存する自社の株式（2020年3月期第3四半期 14,853株、2019年3月期 14,953株、2019年3月期第3四半期 14,953株）を含めております。また、期中平均株式数は当該信託が保有する株式を考慮して計算・記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦を背景に輸出が減速した他、10月からの消費税率の引き上げの影響等により個人消費に落ち込みが生じております。また、世界経済は、貿易摩擦の影響等により、中国経済が鈍化した他、中東地域における地政学的リスク等もあり、不確実性の高い状況が続いております。

食品業界におきましては、人口減少傾向により、国内市場の拡大が困難となる中で、差別化によるマーケットシェアの確保、海外市場の開拓、新たな付加価値の創出や継続的な安全性確保等への対応が求められています。

このような状況下、当社グループは、顧客ニーズや用途多様性に着目した製品ラインナップによる販促を行う他、ごま原料相場の高騰に伴う原料価格に見合った販売価格の是正に注力しました。

ごま油におきましては、業務用を前期2月より、輸出用を当期10月より値上げの実施をしております。また、家庭用は、当期7月より値引き見合いの販売促進費の絞り込みを行っております。その影響等により、家庭用及び業務用の販売数量は、前年同期に比べ減少しております。但し、輸出用においては、値上げの影響はあったものの、北米地域に対する販売好調等により、販売数量は前年同期に比べ増加しております。以上により、ごま油全体の販売数量は前年同期比95.9%、販売金額は前年同期比97.0%となりました。

食品ごまにおきましては、家庭用食品ごまが好調に推移しましたが、業務用が値上げの影響等により落ち込み、食品ごま全体の販売数量は前年同期比97.1%、販売金額は前年同期比99.4%となりました。

一方、コスト面におきましては、売上原価は、原料代が大幅に増加した他、当期中に完成予定の袖ヶ浦工場の人員増等に伴う労務費の増加等により前年同期比107.0%となりました。また、販売費及び一般管理費は、家庭用の販売促進費の絞り込み等により前年同期比94.3%となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高25,746百万円(前年同期比592百万円減)、経常利益は3,099百万円(前年同期比1,174百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,115百万円(前年同期比728百万円減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ごま油事業

ごま油事業におきましては、家庭用は、交通広告やSNSを利用した広告施策やより強い風味が特徴である純正ごま油濃口200gの浸透施策等を行いました。7月より開始した値引き見合いの販売促進費の絞り込みの影響が大きく、販売数量及び販売金額は前年同期に比べ減少しております。

業務用は、前期2月から取り組む値上げの影響等により、一部の加工ユーザーや外食産業向けで使用量の減少や他社への切り替えが生じる等、販売数量は前年同期に比べ減少しております。また、値上げにより業務用全体の販売単価は上昇しておりますが、販売数量の減少の影響が大きく、販売金額も前年同期に比べ減少しております。

また、輸出用は、10月より値上げを実施しておりますが、一升缶製品を中心に北米向けの販売が好調であったこと等により、販売数量及び販売金額は前年同期に比べ増加しております。

一方、コスト面では、既存設備の耐用年数の経過に伴う減価償却負担の減少等あったものの、原料代が大幅に増加した他、袖ヶ浦工場に従事する人員増等に伴う労務費の増加等により、売上原価は前年同期に比べ増加しました。また、販売費及び一般管理費は家庭用の販売促進費の絞り込み等により、前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、売上高は18,859百万円(前年同期比577百万円減)、セグメント利益は2,340百万円(前年同期比899百万円減)となりました。

②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、食品ごまは、業務用の値上げ等に伴う販売数量の落ち込みにより、食品ごま全体の販売数量は前年同期に比べ減少したものの、家庭用の販売好調や業務用の販売価格上昇等が寄与し、食品ごま全体の販売金額は前年同期に比べ増加しました。ねりごまは、値上げを行った業務用の販売が落ち込み、ねりごま全体の販売数量及び販売金額は前年同期に比べ減少しました。

一方、コスト面では、原料価格の上昇や更新設備の減価償却負担の増等により売上原価は前年同期に比べ増加しました。また、販売費及び一般管理費は人件費増等により、前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、売上高は6,816百万円(前年同期比39百万円減)、セグメント利益は557百万円(前年同期比266百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ450百万円増加しました。これは現金及び預金が3,377百万円減少するなどの減少要因があったものの、たな卸資産が2,111百万円、有形固定資産が1,826百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ594百万円減少しました。これは短期借入金が増加するなどの増加要因があったものの、未払金が1,842百万円、支払手形及び買掛金943百万円、未払法人税等が645百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,045百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益2,115百万円計上と配当金の支払い1,105百万円の加減算により利益剰余金が1,010百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,655	2,277
受取手形及び売掛金	7,715	7,285
商品及び製品	1,503	1,523
仕掛品	804	934
原材料及び貯蔵品	4,212	6,173
その他	686	1,261
流動資産合計	20,577	19,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,925	5,347
機械装置及び運搬具(純額)	2,002	5,311
その他	8,631	3,727
有形固定資産合計	12,559	14,385
無形固定資産	254	386
投資その他の資産	2,846	2,460
固定資産合計	15,660	17,232
資産合計	36,237	36,688
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,139	2,196
短期借入金	—	3,000
未払法人税等	743	97
賞与引当金	352	146
役員賞与引当金	193	70
その他	3,504	1,609
流動負債合計	7,932	7,120
固定負債		
退職給付に係る負債	1,482	1,559
役員株式給付引当金	9	17
資産除去債務	54	174
その他	246	259
固定負債合計	1,793	2,011
負債合計	9,725	9,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,067	3,067
利益剰余金	21,902	22,912
自己株式	△1,380	△1,379
株主資本合計	25,749	26,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	747	786
繰延ヘッジ損益	14	10
その他の包括利益累計額合計	762	796
純資産合計	26,511	27,556
負債純資産合計	36,237	36,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	26,338	25,746
売上原価	14,315	15,324
売上総利益	12,023	10,421
販売費及び一般管理費	7,935	7,486
営業利益	4,087	2,935
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	31	32
為替差益	179	68
投資有価証券売却益	5	47
受取保険金	—	24
雑収入	12	9
営業外収益合計	228	182
営業外費用		
支払利息	—	1
支払手数料	14	7
補助金返還損	8	—
災害による損失	17	7
投資有価証券売却損	1	—
雑損失	0	1
営業外費用合計	43	18
経常利益	4,273	3,099
特別利益		
固定資産売却益	60	7
特別利益合計	60	7
特別損失		
固定資産除売却損	148	7
特別損失合計	148	7
税金等調整前四半期純利益	4,184	3,098
法人税、住民税及び事業税	1,281	866
法人税等調整額	59	116
法人税等合計	1,340	982
四半期純利益	2,844	2,115
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,844	2,115

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,844	2,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112	39
繰延ヘッジ損益	3	△4
その他の包括利益合計	△109	34
四半期包括利益	2,735	2,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,735	2,150
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,184	3,098
減価償却費	579	767
賞与引当金の増減額(△は減少)	△262	△205
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△131	△123
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	66	76
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	6	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△31	△32
受取保険金	—	△24
支払利息	—	1
支払手数料	14	7
為替差損益(△は益)	△1	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△4	△47
有形固定資産除売却損益(△は益)	88	0
売上債権の増減額(△は増加)	△1,162	430
たな卸資産の増減額(△は増加)	△796	△2,111
その他の資産の増減額(△は増加)	△309	△265
仕入債務の増減額(△は減少)	76	△944
その他の負債の増減額(△は減少)	103	△408
小計	2,420	231
利息及び配当金の受取額	91	82
利息の支払額	—	△2
支払手数料の支払額	△14	△9
保険金の受取額	—	24
法人税等の支払額	△2,126	△1,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	370	△1,148
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△6	△4
投資有価証券の売却による収入	85	—
有形固定資産の取得による支出	△4,125	△4,008
無形固定資産の取得による支出	△128	△127
有形固定資産の除却による支出	△6	△14
有形固定資産の売却による収入	276	11
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	2	1
保険積立金の積立による支出	△16	△15
保険積立金の解約による収入	13	34
その他	△10	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,918	△4,123
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	3,000
リース債務の返済による支出	△1	△1
配当金の支払額	△1,378	△1,104
自己株式の取得による支出	△88	—
自己株式の処分による収入	89	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,380	1,894
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,928	△3,377
現金及び現金同等物の期首残高	11,007	5,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,078	2,262

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,436	6,855	26,292	45	26,338
計	19,436	6,855	26,292	45	26,338
セグメント利益	3,239	823	4,063	24	4,087

(注)「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,063
「その他」の区分の利益	24
四半期連結損益計算書の営業利益	4,087

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,859	6,816	25,675	70	25,746
計	18,859	6,816	25,675	70	25,746
セグメント利益	2,340	557	2,898	36	2,935

(注)「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,898
「その他」の区分の利益	36
四半期連結損益計算書の営業利益	2,935

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。